

「チィちゃん」がゆくー！ 熊本の味と文化を世界へ



国内のみならず、世界を舞台に活躍する女性が増えてきた熊本。そのひとりが、味千拉麵^{ラーメン}を展開する重光産業株式会社の代表取締役副社長・重光悦枝さんです。創業時に7坪8席だった味千拉麵は、現在、海外店だけで約700店にのぼり、重光さんは世界を飛び回る日々をおくっています。さらには、海外で活躍する日本人ネットワークを構築したり、海外・国内で活躍する女性の会を開催するなど、世界と日本・熊本の「人」をつなぐ活動にも力を注いでいる重光さん。その歩みや培ってきた仕事術、これから目指すところについて、お話を伺いました。



重光産業 株式会社 代表取締役副社長 **重光 悦枝**さん

味千拉麵のマスコットキャラクター「チィちゃん」のモデル

熊本市出身。大学卒業後、ラジオ局のキャスターを経て渡米しマネジメントを学ぶ。1996年、創業者である父の急病により帰国し同社に入社。現在は、「食を通じてアジアと日本の懸け橋になること」を目標に、味千拉麵の広告塔として国内外を飛び回る日々。他にも、海外・国内で活躍する女性の会「世界で闘うグローバル女子会」の開催や、熊本のPRのために「AKJ1000」（A:味な/K:熊本/J:熟女が1000人!）なるユニットを立ち上げるなど、活躍は多岐にわたる。

海外出店で学んだ柔軟な思考

味千拉麵のグローバル展開は1996年にスタートしました。香港店が海外店舗の一号店です。キッチンが、現地で信頼できるパートナーに出会えたこと。海外進出は先代がずっと視野に入れていたので、その出会いで出店を決めました。当時は日本「風」のラーメン屋しかなく、本格的な日本からの進出店舗はありませんでした。香港店では、本場の日本食・ラーメンと共に現地の人たちがイメージしやすい日本食も取り入れることになり、私たちがビックリするようなメニューが誕生することになりました。それは日本では気付けなかった部分なので、ラーメンの裾野が広がったというか、新しい価値観に出会えたように思いましたね。海外出店の際には、国ごとの食文化、食習慣に合わせたメニューを作っていく必要があります。そのために、考え方をすごく柔軟にしなければいけないということ学びました。ですが、守るべき部分はしっかりと守っています。例えば、

近々モンゴルに店舗ができるのですが、いま本店ではモンゴルから来たスタッフ2人の研修を行っています。まずは基礎をしっかりと学んでもらったうえで、それから現地に合うメニューを考えるとという方針を貫いています。

世界規模での「横のつながり」が大切

私は実感として、横のつながりってすごく大事だと考えています。海外での仕事に慣れない頃、ひとりだと心細いですが、現地で頑張っている女性たちが応援してくれて、とても安心できました。また、その方たちが教えてくれる情報は、すごく的確で役立つものが多い。そういった経験をしたことで、グローバルな横のつながりを広げていくとともに、そのネットワークで次の世代も育てていきたいと思うようになりました。私たちにとって良かったことを、次の世代にも伝えていきたい。そんな思いで参画しているのが一般社団法人「グローバル女子会」です。世界で

少し余裕を持つことを心掛けて

仕事をするうえで、私からアドバイスできることなサポートになります。ちなみに、「グローバル女子会」は、華僑にならって作られた「和僑会」という日本人のネットワークから独立したものです。女性たちがより羽ばたくためには、旧来の枠組みにとらわれない、自由度が高い仕組みが合うように思います。

仕事をするうえで、私からアドバイスできることといえば、「無理しないので、深呼吸（余裕を持つこと）を心掛けてください」ということ。例えば、10個の計画を立てて、「全部をやらなきゃ」と肩に力が入ると、それは負担になって息苦しくなります。できたことがら、6個でも良いのです。できない時は無理をせず、できないって素直に謝り、改めてできる方法を探すのです。湯呑みの中がいつもお茶で満杯だったら、それ以上注ぎ足せませんよね？ 自分がいっぱいいっぱいだと、良いことが起きてても、悪いことが起きても、それ以上注ぎ足せません。でも、7分目くらい

活躍したいという人たちに
とって、信頼できるネット
ワークがあれば、きつと大き

だったら、また新しいお茶を入れることができる。そういう意味で、少し余力を残すことが大切なのです。そのために、他に任せたり、譲ることができると、仕事や役割は、お願いするようになっています。そのおかげで、今の活動ができています。例えば、「グローバル女子会」の活動にしても、特に報酬があるわ

これからも世界に向けて挑戦！

私の目標は、味千拉麵の「チィちゃん」として、味千拉麵を世界中のひとりでも多くの人に食べていただきたいということ。それは先代の社長からの夢で、私たちがそのバトンを引き継いで、いま走っています。ひとりでも多くのラーメン大好き人間を作りたいという思いがあるので。そのためにも味千拉麵をいろんな地域に出して行きたいですね。これからも世界中にチィちゃんが飛んで行けるように、人との出会いやつながりを大切に、自分の役割を果たしていきたいと思っています。



重光悦枝さんの3歳頃がモデルとなった味千拉麵のマスコットキャラクター「チィちゃん」と一緒に



熊本県庁近くにある「味千拉麵」本店